

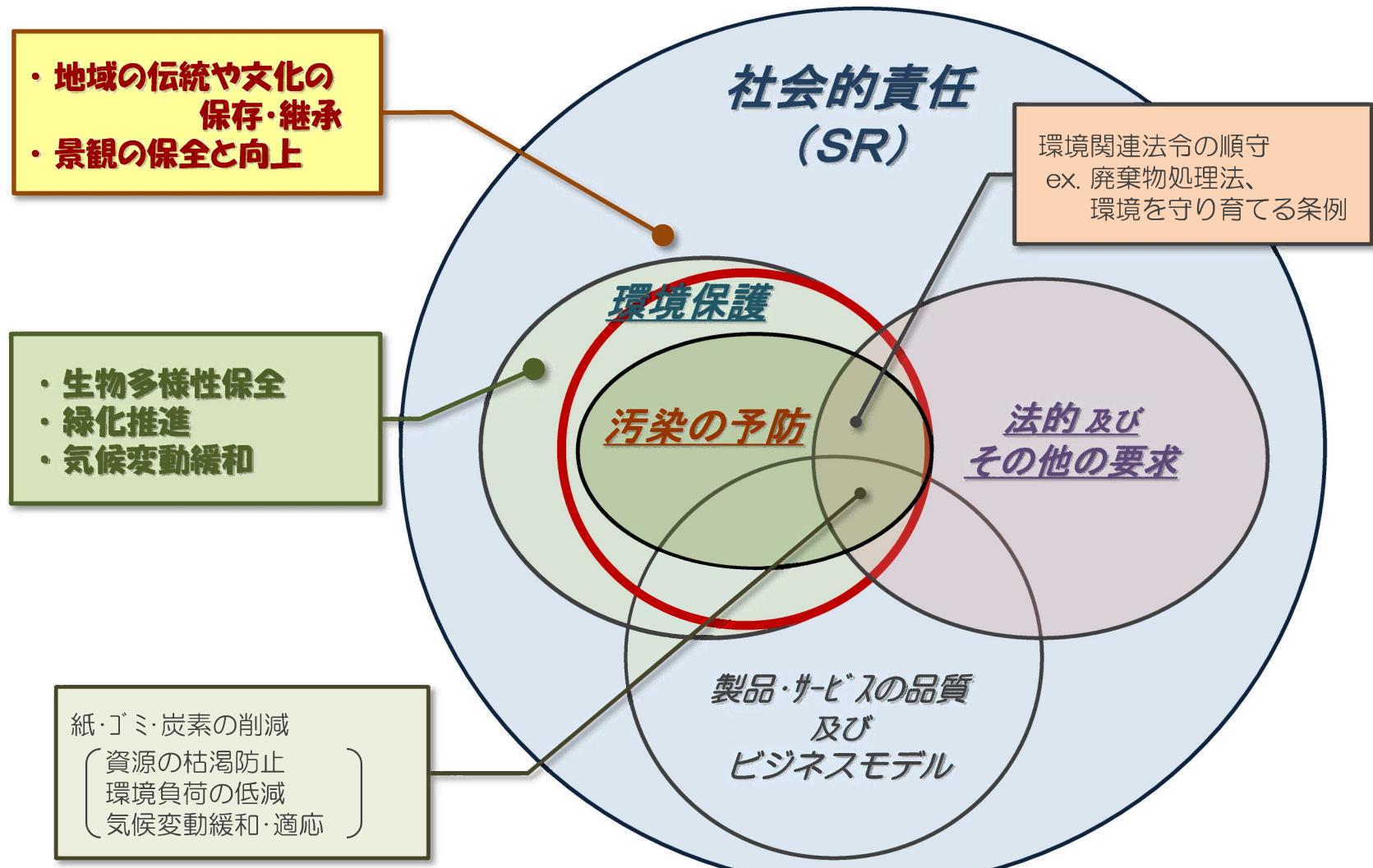
# **KES活動における生物多様性取組み (エコロジカルネットワーク) について**

---

2022. 12. 23

特定非営利活動法人 KES環境機構

# エコロジカルネットワーク活動の位置づけ



# エコロジカルネットワークの「社会的活動」としての意義

## 1. 京都の文化・伝統の保全・継承への貢献

フタバアオイ ……葵祭

ヒオウギ ……祇園祭

## 2. 京都の風土を代表する景観の保存・再現に寄与

キクタニギク ……東山・菊渓川河川敷での自生風景

## 3. 他の希少生物との関わりや共生光景の再現の場づくり

フジバカマ ……アサキマダラ(蝶)の飛来・吸蜜行動

## 4. 気候変動の緩和・気候変動への適応

屋上・壁面緑化による遮熱効果

(→省エネ→CO<sub>2</sub>排出削減)

地上緑化・雨庭による蓄雨・浸透効果で、  
豪雨による冠水や土壤流失等を防止



13-1, 3

## 5. 生態系保全活動への参画

森林保全活動による保水力の確保(→土砂流出の防止)や  
動物の生息域保全(→獣害防止)効果



11-4



15-5



17-17

※SDGs17目標No.のうしろ(-〇)は ターゲット No.。



11 住み続けられる  
まちづくりを



11-3~5

- 3 だれも排除しない持続可能な都市化を進め、参加型で差別のない、持続可能な人間居住を計画・管理する能力を強化する。
- 4 世界の文化遺産、自然遺産を保護・保全する取組みを強化する
- 5 水関連災害を含め、災害による死者や被災者を大きく減らす。



13 気候変動に  
具体的な対策を



13-1, 3

- 1 気候関連の災害や自然災害に対するレジリエンスと適応力を強化する。
- 2 気候変動の緩和策と適応策、影響の軽減、早期警戒に関する教育、人的能力、組織の対応能力を改善する。



15 生の豊かさも  
守ろう



15-1, 2, 5

- 1 陸域・内陸淡水生態系とそのサービス、特に森林、湿地、山地、乾燥地の保全と回復、持続可能な利用を確実なものにする。
- 2 あらゆる種類の森林の持続可能な経営を促進し、森林減少を止め、劣化した森林を回復させ、新規植林と再植林を大幅に増やす。
- 5 自然生息地 の劣化を抑え、生物多様性の損失を止め、絶滅危惧種を保護して絶滅を防ぐため、緊急かつ有効な対策を取る。



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



17-17

さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略にもとづき、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励し、推進する。